



2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

東

上場会社名 株式会社アバント 上場取引所
 コード番号 3836 URL <https://www.avantcorp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義 (TEL) 03-6388-6739
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	3,601	△3.0	537	△3.6	478	△7.0	482	△7.2	303	△9.1
2020年6月期第1四半期	3,714	16.8	557	33.5	514	35.3	520	36.6	334	40.7

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 338百万円(△9.3%) 2020年6月期第1四半期 373百万円(47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第1四半期	8.08	—
2020年6月期第1四半期	8.89	—

※EBITDA(営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 2019年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第1四半期	11,121	7,194	64.7
2020年6月期	11,780	7,194	61.1

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 7,194百万円 2020年6月期 7,194百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,110	2.7	2,330	2.3	2,330	2.1	1,561	1.5	41.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社では年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年6月期1Q	37,586,982株	2020年6月期	37,586,982株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	2,911株	2020年6月期	2,911株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年6月期1Q	37,584,071株	2020年6月期1Q	37,567,346株

(注) 2019年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 8 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2020年10月16日付けで譲渡制限付株式報酬として新株式を発行いたしました。当該新株式発行を反映した期中平均株式数を基に1株当たり (予想) 当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（以下「当第1四半期」という。）における連結業績は以下のとおりです。

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2020年6月期 第1四半期	2021年6月期 第1四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	3,714	3,601	△112	△3.0
営業利益	514	478	△36	△7.0
経常利益	520	482	△37	△7.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	334	303	△30	△9.1

前連結会計年度の終盤には、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりIT投資を先送り（影響が甚大な一部の業種では凍結）される国内企業が見られ始め、当社グループの受注にも影響が出始めていたことから、特に当連結会計年度の上期の経営成績については慎重な見通しをたてておりました。

連結売上高に関しては、連結会計関連事業及びビジネス・インテリジェンス事業が減収となった影響により、3,601百万円（前年同四半期比3.0%減）と減収となりましたが、この見通しの範囲内となっております。

中期経営計画において、経営目標のひとつとして掲げているストック売上（例えばソフトウェアの保守料など、継続的に発生する売上）比率の向上については、恒常的に90%前後のストック売上比率を維持しているアウトソーシング事業の成長に加え、連結会計関連事業及びビジネス・インテリジェンス事業でもクラウド売上の増加などによって比率が向上した結果、38.6%と前年同四半期よりも5.9ポイント上昇しました。総額としては前年同四半期比14.3%増となっております。

利益に関しては、内製比率の向上などによるプロジェクトの収益性の向上や新型コロナウイルス感染症の拡大以降推進してきた不要不急の費用節減の効果が現れる一方で、前年同四半期に連結会計関連事業が役職員の業績連動賞与を支給するための自主基準を満たさなかったことから計上を見送った賞与引当金について、当連結会計年度は計上している影響があり、営業利益478百万円（前年同四半期比7.0%減）、経常利益482百万円（前年同四半期比7.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は303百万円（前年同四半期比9.1%減）と、いずれも前年同四半期よりも減少しております。

各報告セグメントの状況は以下のとおりです。

① 売上高

（単位：百万円 [単位未満切捨て]）

	2020年6月期 第1四半期	2021年6月期 第1四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	1,922	1,801	△121	△6.3
ビジネス・ インテリジェンス事業	1,429	1,382	△46	△3.2
アウトソーシング事業	504	569	65	13.0
セグメント間取引消去	△141	△152	△10	—
連結売上高	3,714	3,601	△112	△3.0

② 営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2020年6月期 第1四半期	2021年6月期 第1四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	330	323	△6	△2.0
ビジネス・ インテリジェンス事業	180	115	△65	△36.3
アウトソーシング事業	118	130	12	10.4
全社費用及び当社と セグメントとの取引消去等	△114	△90	23	—
連結営業利益	514	478	△36	△7.0

連結会計関連事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大によるお客様のIT投資の鈍化や緊急事態宣言による経済活動の停滞などの影響から、当連結会計年度の上期については慎重な見通しをたてておりました。当第1四半期の売上高については、その見通しの範囲内ではあるものの、1,801百万円（前年同四半期比6.3%減）と前年同四半期から減少しております。一方で、内製比率の向上などによってプロジェクトの収益性向上に努めるとともに、不要不急のコスト削減を推進した結果、営業利益は323百万円（前年同四半期比2.0%減）と微減とはなったものの、営業利益率を改善することができました。なお、前年同四半期には役職員の業績連動賞与を支給するための自主基準を満たさなかったことから計上を見送った賞与引当金について、当連結会計年度は基準を満たしていることから計上しております。また、クラウド売上や保守サポートのオプションなどの増加により、ストック売上比率が前連結会計年度よりも顕著に向上しております。

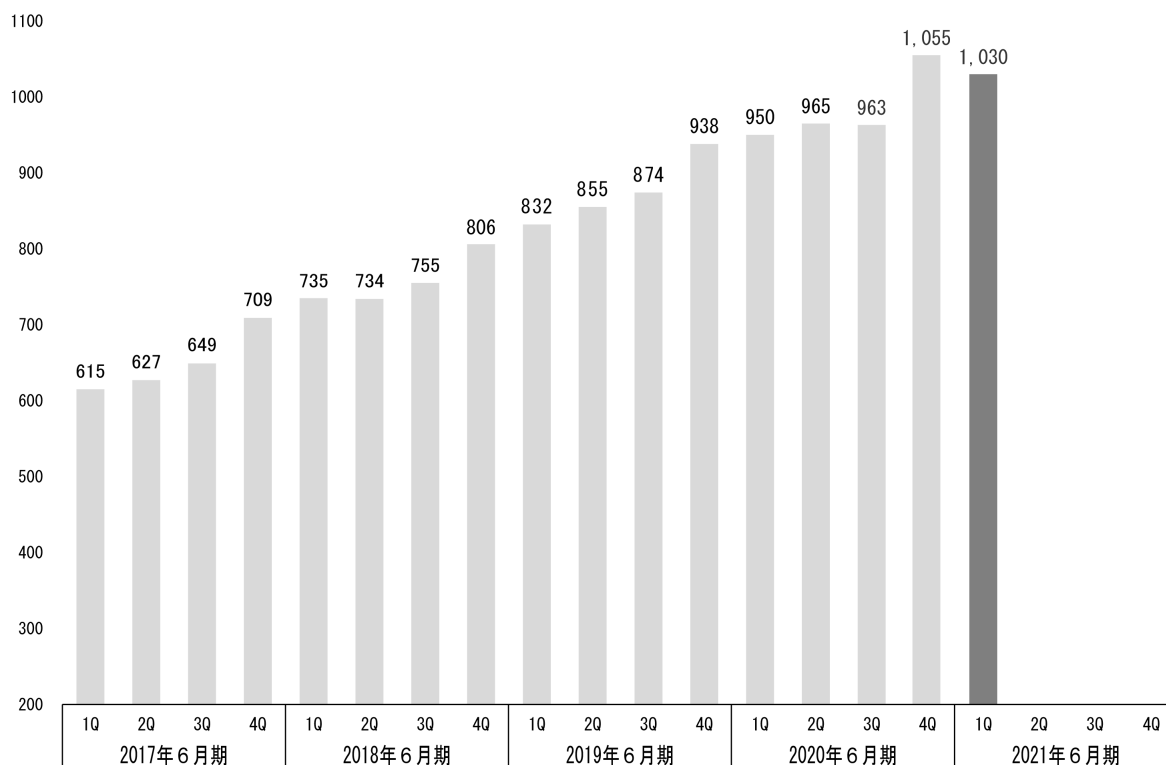
ビジネス・インテリジェンス事業については、国内企業の経営のデジタル・トランスフォーメーション推進に特に貢献できる事業であるため、中期的なニーズは高まっていくものと捉えておりますが、当第1四半期については連結会計関連事業と同様に、新型コロナウイルス感染症の拡大・緊急事態宣言の影響が見られ、売上高は1,382百万円（前年同四半期比3.2%減）と減少しました。また、前連結会計年度に開設したオフィス関連費用など、固定的費用の負担増から営業利益も115百万円（前年同四半期比36.3%減）と、減収額を上回る減益となっております。

アウトソーシング事業についても、コロナウイルス感染症の影響による不透明性から、最終的な意思決定にあたって従来以上に慎重な傾向が見られるなど、市場の状況は楽観視できる状況にはありませんが、創意工夫をもって営業・提案活動を推進した結果、売上高569百万円（前年同四半期比13.0%増）、営業利益130百万円（前年同四半期比10.4%増）と2桁の増収増益を実現しました。

なお、連結従業員数は当第1四半期末で1,030名となり、前連結会計年度末から25名減少しております。

当社グループ従業員数の四半期別推移

(単位:人)



当第1四半期におけるセグメント別の受注及び販売の状況は次のとおりです。

① 受注実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2020年6月期 第1四半期		2021年6月期 第1四半期		前年同四半期比	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	増減額	
					受注高	受注残高
連結会計関連事業	1,893	2,143	1,721	1,920	△171	△223
ビジネス・インテリジェンス事業	1,565	1,340	1,379	850	△185	△489
アウトソーシング事業	599	948	651	1,031	51	83
セグメント間取引消去	△102	△264	△149	△206	△47	57
合計	3,955	4,168	3,602	3,596	△352	△571

② 販売実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2020年6月期 第1四半期		2021年6月期 第1四半期		前年同四半期比	
					増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	1,922		1,801		△121	△6.3
ビジネス・インテリジェンス事業	1,429		1,382		△46	△3.2
アウトソーシング事業	504		569		65	13.0
セグメント間取引消去	△141		△152		△10	—
合計	3,714		3,601		△112	△3.0

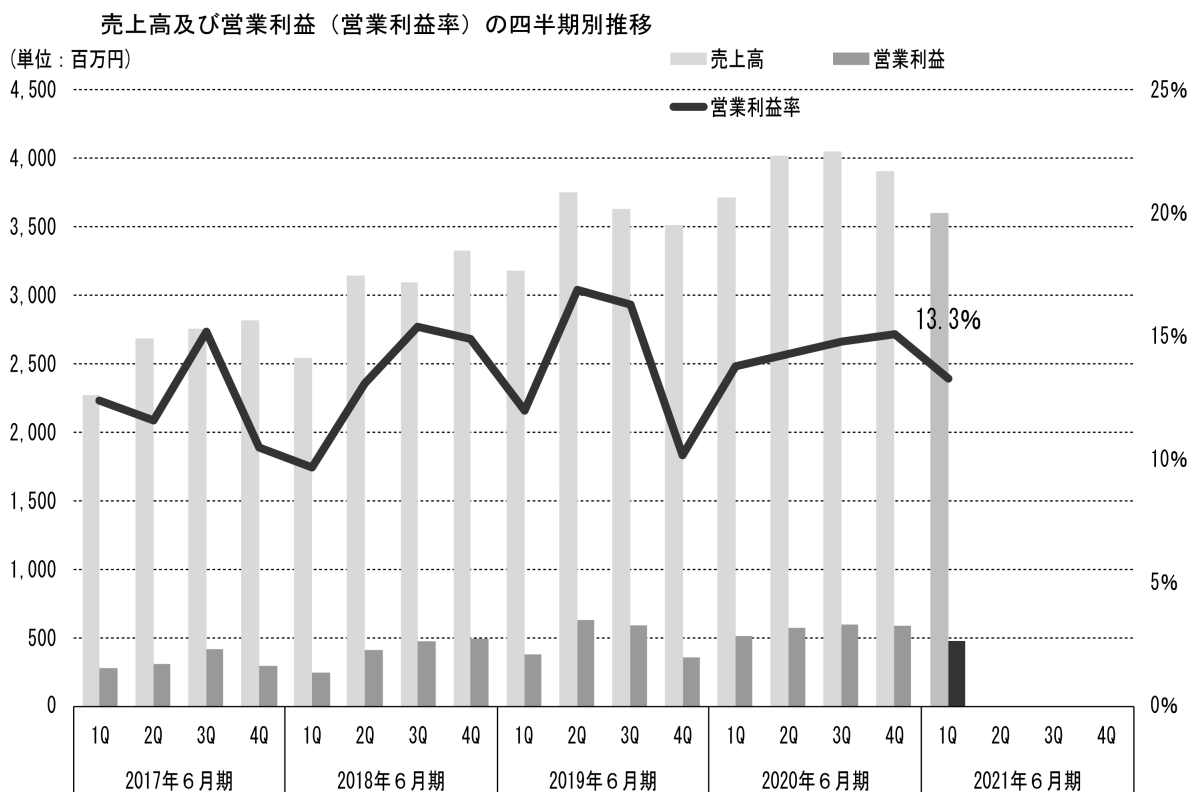
(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

四半期毎の売上高及び営業利益の推移は次のとおりです。

直近4四半期の売上高及び営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2020年6月期			2021年6月期
	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
売上高	4,019	4,050	3,906	3,601
営業利益	574	598	591	478
営業利益率 (%)	14.3	14.8	15.1	13.3



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産合計は、11,121百万円（前連結会計年度末比659百万円減）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少667百万円により、流動資産が541百万円減少したことによるものです。

一方、負債合計は3,926百万円（前連結会計年度末比659百万円減）となりました。これは主に、賞与引当金の減少479百万円、前受収益の減少212百万円によるものです。

また、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益303百万円の計上と剰余金の配当338百万円の支払いなどにより、7,194百万円（前連結会計年度末比0百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は64.7%（前連結会計年度末は61.1%）と、前連結会計年度に比べ3.6%向上する一方、有利子負債も少なく安定性の高い財務バランスを保っていると考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ316百万円減少し、6,054百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、72百万円となりました。（前年同四半期は941百万円の使用）

増加要因の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益482百万円、売上債権の減少額667百万円、未払金及び未払費用の増加額130百万円、預り金の増加額216百万円であり、減少要因の主な内訳は、賞与引当金の減少額479百万円、たな卸資産の増加額130百万円、前受収益の減少額212百万円、法人税等の支払額545百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、45百万円となりました。（前年同四半期は108百万円の使用）

支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出70百万円、無形固定資産の取得による支出40百万円であり、収入の主な内訳は、敷金及び保証金の回収68百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、341百万円となりました。（前年同四半期は283百万円の使用）

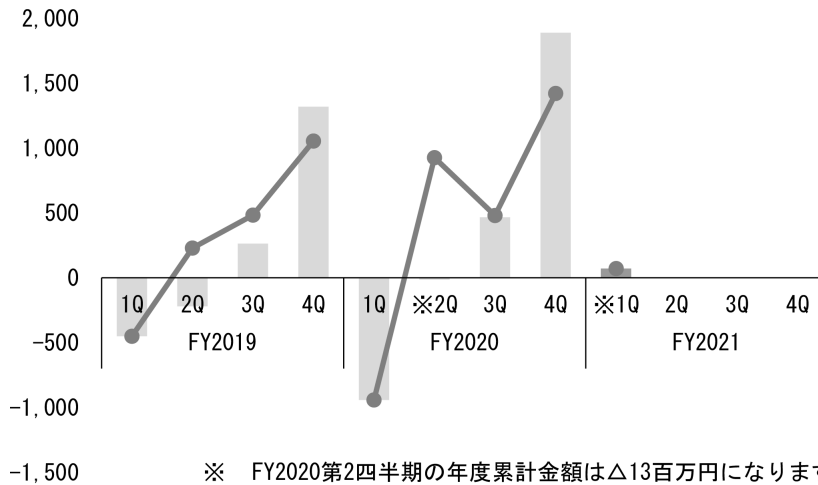
支出の主な内訳は、配当金の支払額338百万円であります。

なお、当社グループでは、法人税等の支払や役職員への業績連動賞与の支給などによって第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは低水準となり、第2四半期以降に徐々に増加し、通期でみるとプラスとなるのが通例となっております。

連結会計関連事業における保守料やアウトソーシング事業の支払手数料については、役務の提供前に年間分が前払いされることから、元より運転資金が殆ど必要のないビジネスモデルとなっています。反面、ビジネス・インテリジェンス事業は外注費等の支払いが先行するため、売上げが伸びるに従って増加運転資金需要が発生することになります。グループ全体の余剰資金を持株会社へ集中することにより、グループ間での円滑な資金融通を可能としている他、グループ全体としては、現金総保有高に加え、取引各行と総額35億円のコミットメントラインを設定しているところから、現状、資金繰りに懸念はなく、むしろ、今後は余剰資金を戦略的な投資に利用して行く意向です。

営業活動によるキャッシュ・フローの四半期別推移

(単位：百万円)



※ FY2020第2四半期の年度累計金額は△13百万円になります。
FY2021第1四半期の年度累計金額は+72百万円になります。

- 営業活動によるキャッシュ・フロー(単四半期)
- 営業活動によるキャッシュ・フロー(年度累計)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では2018年9月に新中期経営計画として、2023年6月期までの5ヶ年計画（5年後の達成目標）を発表しました。その3年目となる2021年6月期は、既存3事業を持続的に成長させながら、当中期経営計画の重要な目標のひとつであるストック売上比率の飛躍的向上に向けた各種活動も推進してまいります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内企業のIT投資の先送りの動きも見られており、当社グループにおいても特に上期の経営成績への影響は懸念されます。しかしながら、影響が甚大な一部の業種を除いては、DX(デジタル・トランスフォーメーション)に関するニーズはより強まっており、当社グループの製品・サービスへのニーズ自体が減退・消滅したわけではなく、むしろ中長期的なニーズは高まっているものと捉えております。

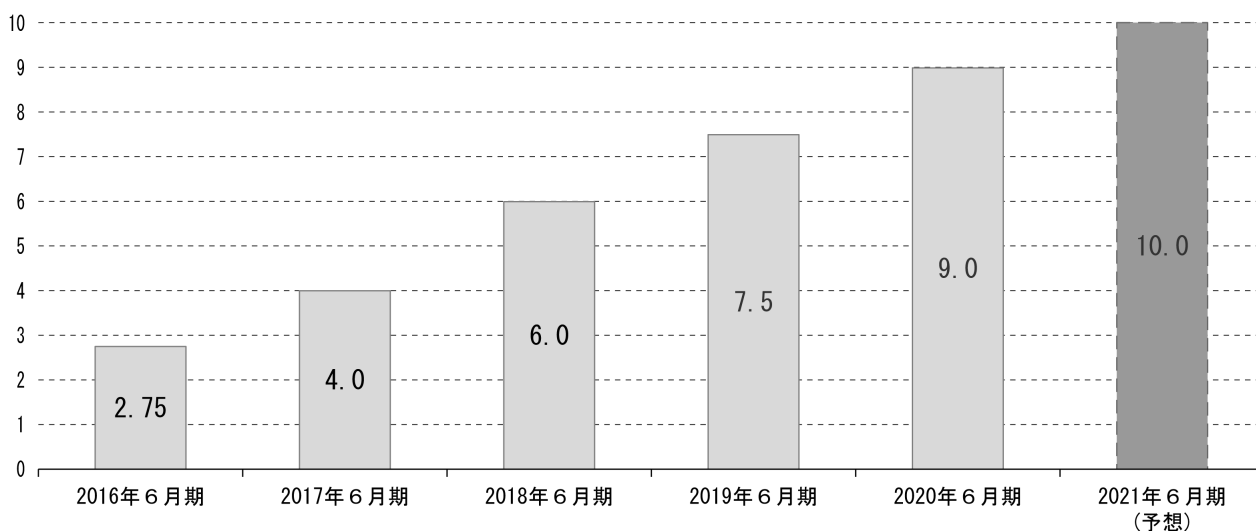
これらの結果として、売上高16,110百万円(前連結会計年度比2.7%増)及び営業利益2,330百万円(同2.3%増)の達成を予想しております。

なお、当該予想は、新型コロナウイルス感染症拡大の国内企業のIT投資への影響が2020年内である程度収束し、2021年には徐々に正常化に向かうとの前提で策定しております。今後、これが長期化する場合には、当社グループの経営成績は予想よりも悪化する可能性があります。

配当については従来の方針に則り、純資産配当率について、全上場企業の平均を常に上回ることを意識しながら引き上げて行く一方で、安定配当(原則、1株当たりの配当金が前期の水準を下回らないこと)を心掛けてまいります。当期の配当については同方針に則り1株当たり10円を予想しております。

配当金の推移(株式分割調整後)

(単位:円)



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,335,623	6,019,407
受取手形及び売掛金	2,343,601	1,675,692
有価証券	10,783	10,586
仕掛品	140,960	223,347
原材料及び貯蔵品	15,587	63,286
その他	664,284	974,426
貸倒引当金	△5,610	△2,661
流動資産合計	9,505,230	8,964,083
固定資産		
有形固定資産	469,392	463,403
無形固定資産		
ソフトウェア	190,781	219,733
その他	744	735
無形固定資産合計	191,526	220,468
投資その他の資産		
投資有価証券	428,261	487,350
敷金及び保証金	674,355	633,009
繰延税金資産	369,737	216,058
その他	142,101	136,762
投資その他の資産合計	1,614,455	1,473,181
固定資産合計	2,275,373	2,157,054
資産合計	11,780,604	11,121,138

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	428,418	466,898
リース債務	14,299	14,306
未払金及び未払費用	333,436	458,035
未払法人税等	122,303	—
前受収益	2,075,741	1,863,492
賞与引当金	719,089	239,980
役員賞与引当金	120,998	23,980
受注損失引当金	15,887	30,182
その他	483,988	581,089
流動負債合計	4,314,163	3,677,964
固定負債		
リース債務	45,297	41,696
資産除去債務	226,810	207,012
固定負債合計	272,107	248,709
負債合計	4,586,270	3,926,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	303,271	303,271
資本剰余金	240,071	240,071
利益剰余金	6,618,666	6,584,023
自己株式	△476	△476
株主資本合計	7,161,533	7,126,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,859	72,923
繰延ヘッジ損益	6	△13
為替換算調整勘定	△3,065	△5,336
その他の包括利益累計額合計	32,800	67,574
純資産合計	7,194,333	7,194,464
負債純資産合計	11,780,604	11,121,138

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,714,822	3,601,888
売上原価	2,149,784	1,997,919
売上総利益	1,565,038	1,603,968
販売費及び一般管理費	1,050,543	1,125,673
営業利益	514,494	478,295
営業外収益		
受取利息	114	108
受取配当金	1,141	1,057
投資事業組合運用益	2,235	—
為替差益	32	—
助成金収入	1,890	2,950
貸倒引当金戻入額	—	2,949
その他	920	10
営業外収益合計	6,333	7,075
営業外費用		
支払利息	125	275
投資事業組合運用損	—	596
支払手数料	667	1,419
為替差損	—	225
その他	—	360
営業外費用合計	792	2,877
経常利益	520,035	482,492
税金等調整前四半期純利益	520,035	482,492
法人税、住民税及び事業税	3,379	46,059
法人税等調整額	182,612	132,819
法人税等合計	185,991	178,878
四半期純利益	334,044	303,613
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	334,044	303,613

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	334,044	303,613
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38,847	37,064
繰延ヘッジ損益	1	△19
為替換算調整勘定	157	△2,271
その他の包括利益合計	39,005	34,774
四半期包括利益	373,049	338,388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373,049	338,388
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	520,035	482,492
減価償却費	42,735	60,446
株式報酬費用	1,187	2,478
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,062	△2,949
賞与引当金の増減額(△は減少)	△572,271	△479,109
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△125,981	△97,018
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△60,058	14,295
受取利息及び受取配当金	△1,255	△1,165
支払利息	125	275
支払手数料	667	1,419
投資事業組合運用損益(△は益)	△2,235	596
助成金収入	△1,890	△2,950
売上債権の増減額(△は増加)	△153,082	667,917
たな卸資産の増減額(△は増加)	9,616	△130,084
仕入債務の増減額(△は減少)	33,452	38,430
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	19,666	130,504
前受収益の増減額(△は減少)	△137,075	△212,249
預り金の増減額(△は減少)	141,979	216,105
その他	△24,117	△75,563
小計	△316,564	613,871
利息及び配当金の受取額	1,431	1,307
利息の支払額	△125	△275
助成金の受取額	1,890	2,950
法人税等の支払額	△627,913	△545,270
営業活動によるキャッシュ・フロー	△941,282	72,582
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△61,281	△70,340
無形固定資産の取得による支出	△16,904	△40,807
投資有価証券の取得による支出	—	△10,525
敷金及び保証金の差入による支出	△33,376	△72
敷金及び保証金の回収による収入	3,009	68,201
その他	49	8,279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,503	△45,265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,267	△3,594
配当金の支払額	△281,755	△338,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,022	△341,850
現金及び現金同等物に係る換算差額	213	△2,285
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,332,593	△316,818
現金及び現金同等物の期首残高	5,195,137	6,370,860
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,862,543	6,054,041

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,918,567	1,423,073	373,180	3,714,822
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,320	6,141	131,236	141,698
計	1,922,888	1,429,215	504,417	3,856,520
セグメント利益	330,201	180,586	118,140	628,929

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	628,929
当社とセグメントとの取引消去額	170,274
全社費用(注)	△285,088
その他	379
四半期連結損益計算書の営業利益	514,494

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自2020年7月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,796,933	1,381,504	423,450	3,601,888
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,370	1,351	146,406	152,129
計	1,801,304	1,382,855	569,857	3,754,017
セグメント利益	323,453	115,083	130,471	569,007

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	569,007
当社とセグメントとの取引消去額	186,431
全社費用(注)	△274,574
その他	△2,569
四半期連結損益計算書の営業利益	478,295

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。